

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 231 号 2017. 7. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

暑さに負けず、すずき農園

千葉県 鈴木秀可



5月の終わりから6月にかけて種まきをした落花生。花が咲き始めたので、草取りをしてマルチ(ビニール)をはがす作業を終えたところです。土寄せのため、機械を入れるところですが、雨のない日々が続いているので、乾いた状態での土寄せになります。いつもなら、雨の降るところとタイミングを見ながらの作業となりますが、今年は今までにないくらいの雨のない日が続いているので、落花生の実が入るのか気になります。



春先に鳴く、うぐいすが未だに鳴いたり、秋の訪れを感じるヒグラシの声も聞こえてきます。年々と気候の変化を感じます。

庭の花には、ミツバチや蝶がいるおかげで、家の裏手にある畑で栽培しているスイカのところにも、ミツバチや蝶が飛んで受粉してくれています。かわいらしいスイカが成り始めました。キジやカラスにねらわれないようにネットをかけて、日々成長を見守る父がいます。暑さに負けずに取り組んでいきたいです。

記念すべき第1回 三咲・白井頒布会

スタッフ 吉野紀美子



三咲頒布会

第1回、三咲・白井2カ所での頒布会の報告をさせていただきます。

三咲(千葉県船橋市)頒布会は6月11日(日)、船橋生産グループの若井さんの1階貸事務所をお借りし、当日販売する野菜、材料を使った12種類の試食を中心に行いました。白井(千葉県白井市)頒布会は、1週間後の18日(日)、地主さんの敷地をお借りし、紅茶、お菓子等の試食を行いました。

両会場では、生産者の方々のご協力のもと、たくさんの販売物が並びました。普段は人通りが少なく、来場者が心配で

したが、地元の方が「なんでこんなに人がいるのかしら?」と言われたくらい、両会場とも、三咲頒布会では72名、白井頒布会では62名ご来場くださいました。会場のそばで声をかけられた方、チラシを見て来られた、という方が多く、中には事前に配布したチラシを持って来られた方がいらしたことは、とてもうれしかったです。この方たちは「近くに安心安全なこういうお店を探していました」と、特に食に関する意識が高く、説明係との話も盛り上がりしました。

三咲頒布会では、壁面を利用して貼った、農園圃場や5月から始めたワークショップの写真を見ながら、試食、説明をしましたところ、2人のアトピーのお子さんをお持ちのお母さんが「何を食べても美味しい」と感激され、たくさん買われ、そして次回のワークショップに参加の予約をされました。またある方は、ご主人の病気をきっかけに、「むせひ屋」のフェイスブックを見つけれ、今回チラシを見て来られ、「食の安全を多くの方に広げる活動は素晴らしい」と、逆にこちらがお力を頂きました。農家の方で、「無施肥が信じられないけれど、ピン実験、稲の倒伏の写真を見て、一部無施肥でやってみる」と言わ



白井頒布会

れたのには驚きました。また普段、生のお野菜をマヨネーズをつけないと食べられないお子さんが、何もつけずにパクパク食べている様子に、お母さんが驚かれた姿も印象的でした。

また、白井頒布会では、自然農法の作物を食し、購入され、なおかつ近くの白井農園の畑まで見学に行っていただくことができ、私たちの理想の頒布会となりました。来られた方の感想を聞くと、「定期的にやってほしい」と言う方が多くいらっしゃいました。今回、畑には10名の方が来られました。グループの方が出会ったNPOの方々、ワークショップ

に参加された方、ご近所の方などです。なかでも昨年秋、中野での自然栽培フェアで知り合った自然農法をめざしている新規就農者の方が来られ、畑で生産者と熱心に話しあっている貴重な場面がありました。その方が岡田茂吉師の提唱する自然農法の生産者として進んでいかれますよう、応援していきたいと思

います。今回会場に来られた方が、自然農法の作物に触れ、とても穏やかなお顔で帰られた様子を見て、自然農法の持つパワーに感動いたしました。



自然農法のお茶を喜んでいただく♪

東京都 長島俊行



私は友人へ自然農法を知らせるために、パンフレットとともに、手土産に自然農法の作物やお菓子などを添えるという方法を10年ほど前から行っており、TOREK活動の話ができる良いアイデアだと思っています。

特に昨年からは、普及活動にもっと役に立てないかと考えておりました折りに、大学時代の友人の誘いで、昨年春から、ある事業団で、「ひきこもり青年の回復、家族支援と青年支援事業」のスタッフとしてお手伝いするようになりました。

ある日、その団体の代表の方が、新しい茶葉を水にさらしてからお湯を注いでいたので、「なぜ水で洗ってからお茶を淹れたのですか?」と尋ねると、「少しでも農薬を除去してから飲みたいから」と言われました。これはチャンスだと思い、「私は無農薬のお茶が手に入りますから、今度お持ちしますよ」と約束して、その後は月に一度、自然農法の煎茶、焙茶、紅茶など、いくつか取り揃えて、差し上げるようになりました。

その団体では、週に一度スタッフミーティングがあるのですが、代表は無施肥無農薬のお茶を贈ったことを大変喜ばれ、ミーティングでもスタッフの方々の話題となり、それからアートルーム(東中野にある美術館)の招待券を配るなどできるようになりました。

スタッフの中のお一人は東中野に住んでおられ、その方は友人を誘って2回ほどアートルームに足を運ばれたそうです。これからも多くの方に喜んでいただけますよう、自然農法の普及やアートルームのお知らせにも取り組んでいきたいと思

お知らせ

- ★ 自然農法農産展 8月3日(木) 販売 / 8月20日(日) 展示
食のあふれている今、人を生かす生命力ある食べ物は一体どれほどあるのでしょうか? 「本物を食べる。作る。考える。未来につなげよう! TOREK 自然農法」をスローガンに取り組んでいます。目で見ただけでなく、舌や鼻で、本物の作物を感じてください。(販売予定はチラシをご覧ください)
- ★ 自然農法頒布会 8月23日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了



お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>